



各地区の事務職員会等の紹介

屋久島町事務職員会と共同実施の現状について

屋久島町事務職員会

1. はじめに

屋久島町は平成19年10月1日に上屋久町と屋久町が合併して誕生し、平成26年8月末日現在、人口13,364人、屋久島と口永良部島（平成26年8月3日に新岳が34年振りに噴火して、全国ニュースでも取り上げられました。）の2島からなっています。

平成26年度は小学校9校、中学校4校の13校で、会員（事務職員）は12名（安房小学校に共同実施加配1名、未配置校2校〔栗生小学校・金岳中学校〕）です。

2. 事務職員会の活動について

定例の研修会を年8回実施し、毎年1回島外への研修視察を実施しています。

研修会では、（1）毎回北部・南部の両支援室が紙面で業務等について報告し、質疑・意見交換を行って情報の共有化に努める。（2）県費事務・町費事務など事例等について資料を提供し合い、会員相互の資質向上に努める。（3）教育委員会と連携を密にし、学校の諸条件の改善に努める。を柱に据えて年間計画に基づいた活動をしています。

今年度の研修視察は、6月に始良市立建昌小学校といちき串木野市立市来小学校を訪問し、共同実施や学校財務事務についての研修・情報交換をさせていただきました。

3. 共同実施について

平成24年4月1日から屋久島町内一斉に本格実施となり、旧上屋久町を屋久島北部支援室、旧屋久町を屋久島南部支援室に分けた形での2グループで構成されています。

両支援室とも（1）諸手当認定、（2）〔事務指導に向けた〕書類の相互点検（自主検査とは関連なし）、（3）広報誌の発行、（4）教育支援業務の研究及び実践等を業務内容とし、基本月2回（年間24回）、9時から16時の時間で開催しています。

北部支援室には、口永良部島（屋久島宮之浦から町営船で1日1往復、所要時間片道1時間40分。）の金岳小・中学校が含まれており、口永良部島から拠点校の宮浦小学校には2泊3日の出張で参加しています。このため町事務研を支援室の前後に組むなど工夫をしていますが、支援室に参加することの負担は他の学校に比べて大きくなっています。

また、屋久島町は、平成24年度宮浦小学校に、平成25・26年度安房小学校にと、県内でも例のない3年連続での共同実施加配が配置されています。

4. 最後に

屋久島は鹿児島市の南方約135kmの位置にあり、高速船で最短1時間45分、フェリーでも4時間と比較的便利な場所にあります。1993（平成5）年、樹齢数千年の屋久杉をはじめとする特殊な森林植生や、亜熱帯から冷温帯に及ぶ植生の垂直分布など、屋久島の貴重な自然環境・自然資源が世界的な評価を受け、我が国で最初の世界自然遺産に登録されました。九州最高峰の宮之浦岳（1,936m）を筆頭に、標高1,000m以上の山が45座以上あり、多くを山岳部分で占められていることから、「洋上アルプス」と呼ばれ、樹齢3000年以上と言われる縄文杉、「もののけ姫」のモデルとなった白谷雲水峡など山の雄大さ、またウミガメの産卵で知られる永田のいなか浜やダイビングで味わえる海の美しさなど自然が豊かな島で、外国人を含め多くの観光客が訪れています。観光はもちろん、これから離島への人事異動を考えておられる方はぜひ屋久島・口永良部島にお越しく下さい。

学校事務現状報告会を開催

10月10日（金）に鹿児島県教職員互助組合会館にて学校事務現状報告会を開催しました。当初8月の予定でしたが台風接近の為に延期したため10月開催といたしました。延期したにもかかわらず今回も台風19号の影響により熊毛・大島地区からの参加者に影響がでましたが、100名の参加者がありました。今年の現状報告会は台風に振り回されてしまいました。

さて、報告会自体は台風に負けず充実したものとなりました。鹿児島地区・大島地区・南薩地区からそれぞれレポートをしてもらいました。概要は次の通りです。

◎「鹿児島市における共同実施導入の経緯について」 鹿児島市学校事務研究会

県内の他の市町村とは異なり、研究組織が分かれている現状や共同実施についての共通理解が図られ、難しい環境の中で共同実施が導入されるまでの経緯等がレポートされました。専決権の留保の解除時期や大規模校が多く共同実施を行うことの多忙化などいろいろな課題が多いとのことでした。

◎「共同執務室における支援室の取り組み」 伊仙町学校事務支援室

導入までの経緯、支援室業務の具体的内容、課題等がレポートされました。特徴的なこととして共同執務室が県立高校跡地を利用していること、備品購入の共同見積もりを実施することによる予算の効率的執行、新規採用や期付職員が多いため研修の充実などがあげられました。

◎「事務職員未配置校への支援室の関わり」 南九州市頰娃西地区学校事務支援室

事務職員未配置校への支援を備品の共同見積・購入を通じて行っているというレポートでした。この支援を行うにあたって実際に未配置校の職員へアンケートを採り、校長・教頭を含めて検討し実施したそうです。その結果、備品等が早く現場に届き、現場では好評でさらに予算的にも大変有効とのことでした。今後とも「共同見積」での経験を生かして、その他の支援も検討していきたいとのことでした。

レポート後の意見交換の中でも、いろいろな意見が出されました。共同実施のために仕事をするわけではなく、共同実施を利用し、よりよい学校を作り上げていく、そのためにいろいろな取組ができてきているなど感じることができました。当日のアンケートでもほとんどの方（回収率80%）が、参加して良かったとの感想をいただきました。「各支援室からは最低でも1人は参加して、報告会での話を持ち帰ってほしいような充実した報告会でした（20代）」とのうれしい意見もありました。今回のレポートについては、県事協のホームページに掲載する予定です。是非ご覧ください。

報告者、参加者、運営協力者の方々大変ありがとうございました。県事協の目標の一つである「情報の共有・享受と地域の連携」が図られたのではないかと思います。

今後、参加者から還流があると思います。次年度からもレポート・参加をよろしくお願いいたします。



2014年度 学校事務現状報告会の様子

活動経過及び予定

- 9月 9日 評議員会・総代会
常任委員会
- 10月 02日 教職員課，総務福利課へ
マニュアル等の点検依頼
- 10月 10日 学校事務現状報告会・理事会
- 11月 14日 評議員会・理事会

県費事務改善検討委員会途中報告

「諸手当認定・電算マニュアル」「県小中学校事務の実務手引書」「福利厚生様式記入例集」の加除に向け夏季休業中に集中して作業を行い、9月の常任委員会で県教委点検依頼に向けて最終確認をし、10月2日に県教委へ点検依頼をしました。今後も2月中には会員のみなさんの手元に届けることができるよう作業していきます。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会議お知らせ

共助会からのお知らせ

日頃より、私ども「共助会」の諸事業の推進や会員の事務手続き等につきまして、県事協の会員の方々には大変お世話になっております。あらためてお礼を申し上げます。

さて、県事協だよりNo.84「共助会からのお知らせ」で、県事協の会員の方々には共助会の加入のお勧めについてご協力をお願いをいたしましたところ、新規加入者数も増加しました。ご協力ありがとうございます。しかしながら、加入率を見ると低く、まだまだ約2,800名の未加入の方がいらっしゃいます。また、その内新採6年未満の方々には1,100名いらっしゃいます。本会では、できる限り所属所に足を運んで未加入者に「加入して損はしないです!!」をモットーに事業内容を説明させていただいているところですが、全員に行き届かないのが現状です。今回、加入促進の一環として、未加入者全員への加入案内（10月23日共助会発）をお届けいたします。未加入の方がいらっしゃいましたら引き続き「加入して損はしない共助会!!」「早目のご加入を!!」とお口添えいただけたら幸いです。

今後とも互助・共助の精神で、会員の方々によりよいサービスができるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

連絡

- ① 共助会だよりをお届けしてあります。県費雇用の全職員に配布をお願いします。
- ② 本会未加入者向けの加入案内（記名）をお届けしました。該当者へお渡しください。
- ③ 生命保険料を本会でお取扱いの方は年末調整用の控除証明書を10月中にお届けします。
- ④ 貸付金についてのチラシを各所属所にお届けしました。掲示していただきますようよろ



教職員共済

教職員共済ホームページ

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

自然災害共済を付帯する人が増えています。

- ① 火災共済(火災保険)だけでは地震での火災は補償されません!
- ② 風水害での補償も充実の給付内容!
- ③ 年末調整での地震保険料控除の対象になります。

(例)木造大型タイプ(全壊の場合)

火災等の補償 2000万円、風水害等の補償 1000万円

地震等の補償 600万円

口数	掛金	控除金額
200口	38,000円	15,600円

新終身共済月払型

若いときから始めるとお得です。

(年齢によって掛金が変わります)

例えば

終身部分を 200万円(掛け捨てではなく60歳払込終了で終身保障)

定期特約を 800万円(掛け捨て部分)

合わせて 1000万円の死亡・高度障害保障

35歳男性の掛金は

終身保障部分が 4500円(月払い)

定期生命特約部分が 1896円(月払い)

合計 6396円(月払い)

35歳女性の掛金は

終身保障部分が 4320円(月払い)

定期生命特約部分が 1496円(月払い)

合計 5816円(月払い)

お問い合わせは鹿児島県事業所へ!

TEL 099-225-2587 Fax 099-225-0248